

☆ 芥見東市民うんどうかい「コロナ禍につき中止します」

NPO法人 まちつくろう会GIFU

ーNPO法人まちつくろう会GIFU・大野 利明
高齢化社会が進行している現在、今まで以上に様々な課題が発生して来ています。課題解決にまちづくり協議会(無料ボランティア)では対応できない課題を解決する団体(有料ボランティア)が必要だという事で、「NPO 法人まちつくろう会 GIFU」を立ち上げまちづくり協議会の組織に加入しました。

今後地域活性化事業を行う中、様々な事業を手掛けていく場合、それに伴い金銭の授受が発生することが予測されます。又法人化した団体で運営した方が金銭の授受が明確になる事、活動の信頼性が大きくなる事、そして法人化する事で有料ボランティアとして活動をお願いする場合に幾らかの金銭を払うことが出来るようになります。

現在の主な事業内容は(1)環境美化事業(空き家草刈り等)(2)空き家管理事業(3)文化事業(4)マーケット事業(5)その他、現在特に力を入れている事業として、空き家・空き地の草刈り・樹木伐採美化事業です。今年度は3軒の空き家草刈り・樹木伐採事業を行いました。空き家・空き地関係に於いて相談したい課題がありましたら「NPO 法人まちつくろう会 GIFU」にご連絡ください。電話番号は080-5298-8480 大野です。



支部だより 新型コロナの終息を願う

ー桜台支部長・大野 章成さん

今まで、自治会の事は殆ど全てを家内任せの私が、いきなり支部長兼自治会長デビューとなり、何をどうしたらも良く解らずスタートしましたが、家内の助けもあり少しずつ慣れてきました。又、各自治会長、優秀な役員さんにも恵まれ助かっています。

私はピアノ専門店の経営者として毎日忙しくしていますが、コロナ禍のこの1年半土曜、日曜日のコンサート会場での調律も延期や、中止になりましたので、其の分自治会活動をこなせることができました。

さて、この度は9月20日の敬老会も中止になり、参加を予定されていた方の事を思うと残念です。早く、新型コロナ肺炎が終息して、色々なイベントが普通に開催できるようになって欲しいものです。



配布

大洞4-53
東山4-53
北山38-336
北山5-85
桜台23-294
桜市25-112
5棟4-16
6棟4-23
2P1-11
柏台31-288
14棟4-22
15棟4-15
桐丘23-169
桐市6-25
紅葉20-2231
紅市16-72
合計212-1805

小中学校 小中一貫校「はじめの一步」

ー藍川東中学校校長・古田 浩章さん

「小学校へ行ってきます！」中学校の先生が明るく一声かけ、職員室を出ていきます。そして「戻りました！」と元気に職員室へ帰ってきます。

芥見東小と藍川東中の小中一貫校の歩みが始まりました。小・中学校の先生が、どちらの学校でも児童生徒にかかわり、その成長を支えていくことができることは、小中一貫校の利点の一つです。その「はじめの一步」として、中学校から、英語と音楽の先生、そして、小中を繋ぐ役割をもつ主幹教諭の先生が、日々、小中学校を行き来しています。



この歩みは今後、中学校への進学を迎える小学生の皆さんが、中学校の先生との授業を通して、よりよい人間関係を築くことによって、安心して中学校の扉を開けることができると期待しています。

11月には、「地域ふれあい活動」を機会に、小中学生の皆さんが、異年齢で活動できる行事を企画しています。こちらは今からとても楽しみです。

防災 ～家庭でできる防災対策を～

ー芥見東自治会連合会・編集委員

今後30年以内に東海、東南海、南海トラフ地震が発生する確率が60～80%以上と高まっています。

備えあれば憂いなし。最低でも3日間(できれば1週間)の備蓄を心がけましょう。

災害が発生した場合、支援物資が避難所にスムーズに行き届かないケースも想定されます。そのような場合に備えて、飲料水(一人1日あたり3リットルを目安)、乾パン、アルファ米、レトルト食品、医薬品 セット、簡易トイレ等の備蓄を行いましょう。

備蓄の方法としては、ローリングストックがあります。ローリングストックは、缶詰やレトルト食品、トイレトペーパーなど日常生活で消費するものを少し多めに買い置きして賞味期限が近づいたものは食べて、食べた分をまた補充するやり方です。

災害はいつ起こるかわかりません。避難時にすぐ持ち出せるようリュックサックなどに、ご自身や家族の状況に合わせたものを準備しておきましょう。



☆ 新型コロナウイルスの感染予防のため三密を避け、手洗い、手指消毒、マスク着用、黙食などに努め、不要不急の外出を控えましょう。

社協 これからの社会福祉をどう考える

一社会福祉協議会芥見東支部長・多田 喜代則さん
 岐阜県は、現在新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言対象地域として新規感染者数・病床使用率等において非常に厳しい状況にあります。私たち一人ひとりの日々の生活態度によって、早期に終息に向かうよう願うところです。

社協芥見東支部では7月24日（土）午後、第二大洞岐協苑の地域交流室をお借りして7月の事務局委員会を行いました。予定議題が終了した後、当地域における福祉の現状について委員の皆さんから多くの意見が出されました。今後地域全体の課題としてとらえる必要があると思います。その一端をご紹介します。

- 軽度の認知症によるご近所でのトラブルの増加。
- 認知症と分からず地域の役員になると他の役員が大変である。選出する役員数を少なくして欲しい。
- 見守り愛チームについて：(1) チームリーダーだけでは、平常時の見守りは無理。(2) 見守り合いは必要。(3) 自分の近所で気の合う人2人くらいに頼みそっと見守ってもらう。(4) 住民全員漏れのないように見守ってもらう人をつくる。(5) それでも漏れる人は斑長さんか民生委員さんに頼み見守ってもらう。(6) 住民全員がいつも誰かに見守られている状態をつくる。(7) 愛の一声運動の全員版にする。
- 高齢者世話や独り暮らし世帯になっても、住み慣れたこの地で暮らし続けていくにはどう手を差し伸べたらいいのか。
- 「小さな手助け」も一助になっている。



○これらの地域全体の課題について：(1) 現状を知る。(2) 地域の担当団体・専門家の意見をいただく。(3) 行政等の指導を受ける。(4) 地域として方策を立てる。今後、地域のご希望者にも参加していただいて地域懇談会を立ち上げたらいいかがでしょうか。 □■

防災 近所・感謝と自治会の大切さ！

一桜台在住・OTさん

自治会活動で一番大事なものは、防災活動です。いざという時、まずは自分の命、家族の命を守る行動をとる（自助）、次は家の周り、隣近所の様子を確認し、行動を起こす（共助）ことが一番大切な事です。よく災害の時、まず自助、そして共助、公助といわれますが、今は自助の次は、近助だと思います。近助を確かなものにしていくには、みんなが自治会に入って、常日頃から近所同士、挨拶、

声の掛け合い、お互い助け合って暮らしていく事だと思います。自治会連合会の存在もその為のものです。それらの為に色々な行事、催し物、イベントなどを行って人と人の絆づくり、ふれあいづくり等、裏方のお手伝いをしています。

阪神大震災の語り部による講演会に於いてこのような言葉がありました。

7時間生き埋めになりご近所に助けられた夫妻が語った言葉を紹介しておきます。

「助けてくれるのはご近所さんです」

「普段から人づきあいが悪く嫌われている人は助けてもらえません」

「消防は消火活動に専念するべき。救助・救命活動はご近所同士でやってもらうしかない」という言葉は強い印象が残りました。

一言「人は一人では生きていけない、当たり前だと思う日常は周りの人に助けられ、支えられながら生きていくのです。人を批判する前に周りの人達、裏方の人達に「感謝」を忘れてはならないと」 □■



PTA 使用済みマスクの処理は適切に

一芥見東小学校 PTA 副会長・高岡 靖夫さん
 新型コロナウイルスが猛威を振るい、緊急事態が長期化し、幾日経ちました。今年度も昨年以上に行事の開催は厳しく、数多く中止を余儀なくされる中、自治会によっては環境整備などの地域活動は例年通り執り行われるものもありました。

私自身も先日、大洞から倉知桐谷へと抜ける坂道に落ちていたポリ捨てでゴミを集めて歩き、今年度は特に「マスク」が沢山捨てられている事が印象に残りました。不織布マスクは白い紙のように見えますが布であり、原材料は主にポリプロピレンやポリエステルといった化学繊維が使われている素材が多く、オーガニック素材ではない為、長期間その場に堆積する事は環境的や衛生的にもネガティブなイメージに感じます。

季節柄インフルエンザの流行と共に、感染症対策にマスクが必要です。各家庭からも、マスクを捨てる際は自治体ルールに従い適切な処理をお願いします。子ども達への教育の一環としても、ルール徹底に努めましょう。 □■

